

教職コースの受講許可を受けた学生は『教職課程受講ガイド』も参照してください。

1 カリキュラムの特徴

① 生物資源学科科目には、必修科目、選択科目があります

必修科目 (講義・実験・実習・演習)	生物資源学科で学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。
選択科目	各自の必要に応じて履修する科目 (生物環境システム学科科目・生命化学科科目・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる)

② 領域配属 (教職コースを除く)

- 生物資源学科には、「植物機能開発科学領域」「動物・昆虫機能開発科学領域」「遺伝子・細胞工学領域」の3領域があります。第4セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、第5セメスターから領域に配属されます(配属後に領域を変更することはできません)。
 - ① 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
 - ② 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数はあらためて連絡します。
 - ③ 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第4セメスターに領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらためて連絡します。

2 卒業要件

- (1) 修業年限を満たすこと
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
- (3) 累積GPAが2.00以上であること
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、自然科学科目群から6単位以上、言語表現科目群から「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」を含むELF科目を8単位以上を含み、合計24単位以上(必修科目を含む)を修得していること
- (6) 生物資源学科科目の必修講義科目31単位を修得していること
- (7) 生物資源学科科目の必修科目の実験・実習・演習科目(「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」を除く)24単位を修得していること
- (8) 「卒業研究Ⅰ」2単位、「卒業研究Ⅱ」6単位を修得していること

※教職課程(教職コース)に関する卒業要件は、p.92を参照。

3 卒業までの単位配分

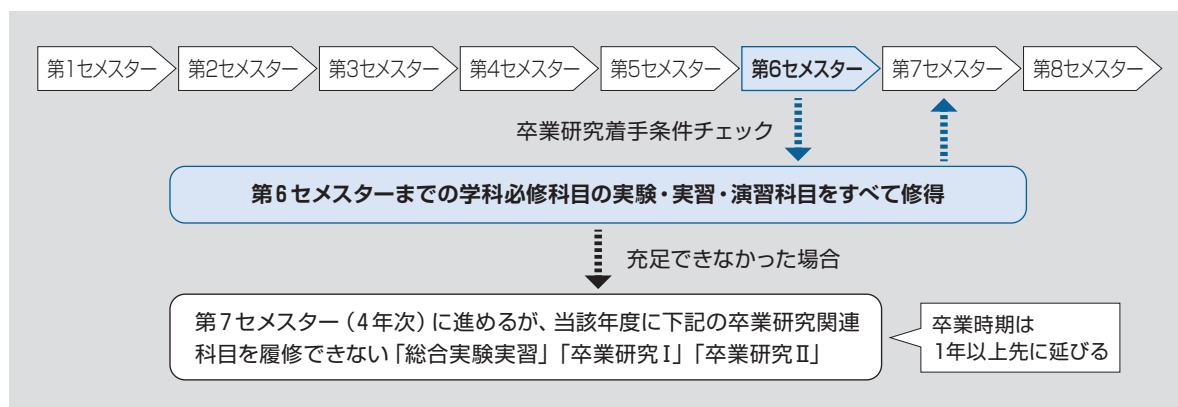
- 卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生物資源学科の場合その内訳は次のとおりです。

科目群	科目分類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	7単位
	人文科学科目群	4単位以上
	社会科学科目群	4単位以上
	自然科学科目群	6単位以上
	学際科目群	2単位以上
	言語表現科目群	8単位以上
		合計24単位以上
生物資源学科 必修科目	必修講義科目	31単位
	必修実験・実習・演習科目	32単位（「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」を含む）
選 択 科 目	生物資源学科選択科目	
	他学科開講選択科目	
	他学部開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

4 履修条件

- 第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



5 履修上の留意事項

- ① C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.47を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
- ② 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合もありますので、UNITAMAおよび大学7号館の掲示を十分確認してください。
- ③ 「フィールド管理実習Ⅲ」、「インターンシップ」は3年次の春期または夏期休暇等を利用して実施されます。これらの科目の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「フィールド管理実習Ⅲ」の履修登録・単位認定は第7 Semesterに行います。
- ④ 教職関連科目群の科目は、教職課程の受講許可を受けた学生だけが履修することができます。

▶農学部教職コース履修案内
参照「教職課程受講ガイド」p.42